



祝祭日には国旗を掲げましょう。

# 大阪天満宮社報 第74号

## てんまてんじん



## 涼風進上

平成三十年 盛夏

宮司挨拶	3 頁
名譽宮司謝辞	3 頁
クラウドファンディング	4 頁
天神祭渡御行事保存協会の改革	6 頁
上方落語協会 七代目会長	6 頁
安倍總理大臣 来宮	9 頁
浪花百景	10 頁
神職・巫女 紹介	14 頁

表紙解説

その勇壮な姿と担ぎ手の力溢れる姿が迫力満点、天神祭に華を添

それが「鳳神輿」と  
「玉神輿」です。

両神輿は天保八年（一八三七）の「大塩平八郎の乱」で一度、灰塵に帰してしまいましたが、今に伝わる御神輿は天保十一年（一八四〇）に大川（天神祭の船渡御を行う川）下流の江之子島東町の天

いる様子を描いた『浪華天神祭礼図』(左図。全体の一部を抜粋)のような絵が何点も見ることが出来ます。

これより、以前は玉神輿、鳳神輿の両神輿が並んで大川を進んでいたことでしょう。今でも二基の

玉神輿

それが「鳳神輿」と  
「玉神輿」です。

両神輿は天保八年（一八三七）の「大塩平八郎の乱」で一度、灰塵に帰してしまいましたが、今に伝わる御神輿は天保十一年（一八四〇）に大川（天神祭の船渡御を行う川）下流の江之子島東町の天

いる様子を描いた『浪華天神祭礼図』(左図。全体の一部を抜粋)のような絵が何点も見ることが出来ます。

これより、以前は玉神輿、鳳神輿の両神輿が並んで大川を進んでいたことでしょう。今でも二基の



左が鳳神輿、天神祭御神輿が二基出御するようになつたのは、正暦五年（九四）京都の船岡山で行われた御靈会にて疫神をお祀りする御神輿が二基出御したことにならい、天神祭でも玉神輿・鳳

た船大工の子孫である吉川市松氏が附属商組合の組合長として市場で営業させていたことが縁で、玉神輿は昭和二十四年（一九四九）からは市場内で働く人々によってお護りすることとなりました。その当時は、附属商組合（現在の綜合直売協同組合）が中心となるり講を運営していましたが、経費などの問題から他の組合にも参加を求め、最終的には、大阪市中央卸売市場本場市場協会が携わる体制になつたと言われています。長い天神祭の歴史の中で、一艘

御神輿が天神祭を盛り上げるべく  
切磋琢磨し、その絢爛豪華な姿と  
躍動する姿を見ることが出来ます。  
船渡御の花火の美しさもさること  
ながら、陸渡御を華々しく飾る  
二基の御神輿の威勢良く、雄々し  
いその勇姿を是非、皆様もご覧下



A portrait of Toyoda Masaharu, a man with short dark hair and a goatee, wearing a black kimono over a white collared shirt. He is seated with his hands clasped in front of him. To the right of the portrait, the text "寺井 種治" is written vertically in large, bold, black characters.

御挨拶

して認識されております。  
先人が守り伝えられてきた歴史と伝統を受  
け継ぎ次代へ必ず伝えていく事が使命である  
と思ってます。現在九年後に御祭神菅原道  
真公の御神退千百二十五年の式年を迎えるに  
当たり、記念事業等の検討準備を進めていま  
す。

# 御挨拶

本年、四月一日付で父である、前種伯宮司から引き継いで、神社本庁より大阪天満宮宮司を拝命致しました。

その重責に大変身の引き継まる思いで日々過しております。

平成九年に明治神宮から戻つて参りましてから、補宜、権宮司として、ご奉仕させて頂き、二十一年間が過ぎました。

当宮は天神祭を中心に、地元の氏神様として、大変多くの氏子崇敬者の皆様に支えられている神社であります。

地域の皆様は、何があると「天神さん」を中心と考えて下さり、大切に思つて下さつて、いる事に心から感謝申し上げます。

業展開を考えていますのでご期待下さい。  
そして、明年平成三十一年一月には、今上陛下御即位三十年の節目の年を迎え、国民等しく陛下の三十年の大御代を寿ぎ奉祝の誠を捧げていく年であり、畏れながら御譲位から秋の大嘗祭までの御代代わりの一連の行事が滞りなく行われる事を念願しております。

従つて、今年の天神祭は平成最後の天神祭であり、そのような意味でも感慨深い思いが致します。

天神祭を取り巻く環境は年々厳しくなつてきておりますが、天神祭は歴史的にも様々な困難を乗り越え時代によつて柔軟に形を変えながら今に至つています。

大過なく(自称)奉務を了える事が出来ましたのも御神徳は元より御先祖の御神慮、諸先達のご指導、ご叱責、朋友達の変わらぬ温情、氏子崇敬者のご熱誠、回りの人達のご助力、職員各位の支え、家族の大きな愛ー等々過ぎ去つたページをかえり見ますと様々な出来事が通り過ぎて行きました。

喜び、哀しみ、楽しさ、うれしさ、感動・・・事ある度びに多くの人々の関わり、ご助勢があつての「今日」である事を身に浸みて感じる今日此頃であります。

それだけに、私どもの果たさなければならぬ役割も大きく、常に襟を正し身を慎み、神職として志を持つて神明奉仕に励まねばならないと自覺しております。

「不易流行」という言葉がありますが、その言葉通り、守るべきものは決して変えること無く、時代の変化には鋭く対応していく。そのような姿勢で臨んで参りたく存じます。皆様には今後ともご教示賜りますよう宜しくお願ひ致します。

向後は微力ではありますまがご奉仕  
を旨としつつ余生を過ごし度く変わ  
りませぬご交誼、ご芳情をお願い申  
し上げ、ご挨拶と致します。



## 天神祭の準備も肃々と

今年の天神祭は新宮司のもと大きく生まれ変わろうとしています。しかし祭りの本質と神様の御恵みには何ら変わることはありません。そんな中にも準備を怠るわけにはいきませんので、神職、巫女、その他職員はたくさんの準備作業に追われる毎日を送っています。今回はほんの一部をご紹介いたします。

一つは「花火玉レプリカ」の製作です。これは奉納花火について一発協賛という御寄付を募つていて、船渡御部門では「扇子」のデザインを募集し、各部門の最優秀のデザインが、グッズとして制作されています。



「あまつかぜ」とは天空から吹き降ろす風のことです。神様の風という意味もあります。

また、天神祭の期間には「夏越守」も授与しておりますので併せてご紹介いたしました。

大変な暑さも神様の恵みの一つだと思って少し夏を楽しむことができれば気分はさわやかで幸せに感じることができますね。

天神祭の現状は、行政からの補助金の削除、長く続く不況による協賛の減少、各地の祭で発生した事故を鑑み、自主警備を増やしたことによる警備費の増加などから、船を出すことに回すお金を減らさざるを得ない状況であり、天神祭が置かれている状況は良いものではありません。現在、江戸時代中期に興った大篝船をはじめ、天神さんに神樂を奉納する神楽船といった伝統のある船が消滅しようとしています。

そんな状態を打破すべく、クラウドファンディングプロジェクトは、「伝統の船渡御を守るために」をテーマにさせて頂きました。

クラウドファンディングは、国内大手であるMakuake（マクアケ）と共にプロジェクトを開始しました。期間は六月四日から七月三日。

冒頭で記した通り、天神祭が置かれている状況は良いものではありません。現在、江戸時代中期に興った大篝船をはじめ、天神さんに神樂を奉納する神楽船といった伝統のある船が消滅しようとしています。

そんな状態を打破すべく、クラウドファンディングプロジェクトは、「伝統の船渡御を守るために」をテーマにさせて頂きました。

「手ぬぐい」と「扇子」に関しては、デザインを関西の芸術学校や専門学校などに陸渡御部門と船渡御部門の二部門の公募を行い、多数の応募を頂きました。陸渡御部門では「手ぬぐい」のデザインを、船渡御部門では「扇子」のデザインを募集し、各部門の最優秀の応募を頂きました。陸渡御部門では「手ぬぐい」のデザインを、船渡御部門では「扇子」のデザインをイメージした中に梅鉢門を散りばめており、全体的に涼しくなるような仕上がりとなっています。

扇子には「天神祭の中でも特に有名な船渡御、鉢流神事で用いる神鉢や大きな梅鉢紋の中には提灯の絵や花火の絵もあしらわれ、水面をイメージした中に梅鉢門を散りばめており、全体的に涼しくなるような仕上がりとなっています。

他にも陸渡御・船渡御をイメージしたラベルデザインの日本酒（右図）クラウドファンディング限定のパッケージの梅干し（梅は



されました。  
手ぬぐいには、「天神祭が行われることを知り、太陽をバックに陸渡御の行列が長く続く様子をデザインにし、陸渡御列のように天神祭も未来永劫まで続きますように」との願いが込められています。

皆様のご支援して下さる金額によってお返しの品（以下、リターン）の内容も変わります。

例えば、三千円の支援であれば、天神祭公式ホームページに氏名の記載・御礼状を送付、五千円では先程のものに合わせて、天神祭オリジナル手ぬぐい、一万円はオリジナル扇子、二万円はオリジナル梅干し、もしくはオリジナル日本酒（四合瓶が二本）十万円の場合、八月二十五日の月次祭へ参列とその後、神職による特別講話（食事付）となっています。

この場をお借り致しまして、職員一同、心より篤く御礼申し上げます。

本プロジェクトも目標の三〇〇万円を達成しました。全国津々浦々よりご支援を賜り、三大祭の一つに数えられる天神祭が、三大祭の随一の祭へと、大阪を代表する祭から、日本を代表する祭へと歩ずつ近づいているように感じる次第です。

文末となりましたが、天神様の御守護の下、ご支援賜りました皆様をはじめ、天神祭にご奉仕をして頂きました皆様のこれからのご健勝とご多幸を、そして弥々の御栄を御祈念申し上げますとともに、重ねて深謝申し上げます。

## 天神祭クラウドファンディング ～船渡御を守る～

当宮の御神園がある株式会社東農園様よりご提供されます。※右下図参照)

いずれの品も、今回のクラウドファンディング『限定』の品となっております。社頭でもお出しすることはできません。

一般、皆様から賜りましたご支援の御蔭もありまして、天神祭を無事に御齋行することが叶いました。

この場をお借り致しまして、職員一同、心より篤く御礼申し上げました。

本プロジェクトも目標の三〇〇万円を達成しました。全国津々浦々よりご支援を賜り、三大祭の一つに数えられる天神祭が、三大祭の随一の祭へと、大阪を代表する祭から、日本を代表する祭へと歩ずつ近づいているように感じる次第です。

天神様の御守護の下、ご支援賜りました皆様をはじめ、天神祭にご奉仕をして頂きました皆様のこれからのご健勝とご多幸を、そして弥々の御栄を御祈念申し上げますとともに、重ねて深謝申し上げます。



## 第四回 大阪天満宮法樂連歌

### 高城修三連歌会 奉納

去年の夏友がみまかる夕暮れ

形見の酒盃ぐつと飲み干す

修三

初折表 青梅に笑顔を寄せる夫婦かな

杉田繁治

大河ドラマに麒麟が来たら

鈴木章雄

天神祭を重ね六十年

今枝清實

丹波路に春の嵐が吹き抜けて

奥山満里子

手甲脚絆に振り分け荷物

高城修三

松並木づく清水の昼の月

横山 葵

忘れ扇を開きし童女

山田順子

かにかくも今宵は花の連歌会

廣瀬春雄

初折裏 秋深み子供淨瑠璃声高き

小堀由紀江

ガラス越し光悦茶碗おさまりぬ

前田正子

言葉巧みに恋の迷かけ

上羽利枝

桔間達える恥の醉客

建夫

告げ口に恨みつのらせ夜もすがら

友永和子

算盤を彈き直して知らぬ顔

奥村文男

最後の手紙緑のイシク

河内 保

身請け話は夢のまた夢

満里子

ベルリンの驚の紋章仰ぎ見る

村上建夫

つわものどもは汗ばむばかり

家村豊次

黒揚羽蝶つかずはなれず

貴代美

太門を紅あざやかにハ文字

利枝

空にただよう一ひらの雲

田中哲哉

寄り集うカラスにトシビ寿ぎし

建夫

神武東征ここになるなり

修三

日の本はまごどうるわし秋津飛ぶ

貴代美

方谷を訪ねきたりて望の月

修三

泰団子のせ宿のもてなし

修三

山田 制を定めたる秋

修三

いらみたる底には鬼の面があり

建夫

月煙り野望の行方本能寺

修三

青梅に笑顔を寄せる夫婦かな

修三

如何せん世間のことは打ち捨てて

修三

天神祭を重ね六十年

修三

如何せん世間のことは打ち捨てて

修三



内閣総理大臣 安倍晋三氏 参拝

名ほどが参列し拝を行いました。  
この後総理は拝殿にて御記帳され  
御神酒を拝戴して宮司 名誉宮司、  
他の皆様と記念撮影を行いました。

五時五十一分 本殿を御退下さ

れ宮司の案内にて天満天神繁昌亭

の視察に向かわれました。繁昌亭

玄関前では恩田雅和支配人が出迎

え、館内を視察され、五時五十七

分 繁昌亭前にて御乗車、宮司以

下当宮関係者がお見送りする中、

次の視察地である浪速区方面へ出

發されました。

## 神社本庁表彰式

文化研究所

近江晴子 研究員 受章



らせて頂くという大役を務められました。

表彰式終了後、同明治記念館内にて催されました、大阪府神社庁主催の祝賀会では、受章者のみなさんがお揃いで記念撮影をするなど、和やかな雰囲気のなか進行致しました。

この度、ご受章された皆様に心よりお祝い申し上げます。



神社本庁表彰式 大阪府神社庁 平成30年5月23日 於 明治記念館

去る、五月二十三日、明治記念館に於いて、平成三十年神社本庁表彰式が執り行われました。

当宮からは、永年にわたる神社奉務への功績が認められ、文化研

究所の高島幸次研究員、近江晴子研究員が、第三条第四号を受章されました。

また、同号受章者の代表として高島研究員が登壇され、神社本庁池田厚子総裁より表彰状を受け取







①権爾宣  
國本 幸美  
②平成23年4月1日  
③奉賽部 秘書



①権爾宣  
中村 泰輔 36才  
②平成21年4月1日  
③財務部



④明るい笑顔がセールスポイント!!  
④今期より大工方棟梁となりました  
よろしくお願ひ申し上げます

①権爾宣  
中西 佑 33才  
②平成19年4月1日  
③財務部



④四條畷神社より参りました。  
宜しく御願い致します。

①権爾宣  
南井 広也 47才  
②平成30年4月1日  
③祭儀部 天満宮会館



④日々是好日。堅実に奉仕に  
励みたいです。堅実に奉仕に

①権爾宣  
小林 倫宏 25才  
②平成28年4月1日  
③総務部 秘書課広報



④四月より権爾宣となり自分の  
仕事に責任を持つて日々奉仕  
していきたいと思います。

①権爾宣  
三上 昇太 25才  
②平成28年4月1日  
③総務部



④積近謀遠 精一杯頑張ります  
①権爾宣  
青木 邦友 26才  
②平成27年4月1日  
③総務部 祭儀部



④何事も全力で。  
①権爾宣  
中山 慶太 26才  
②平成27年4月1日  
③経理課



④神様から頂いた御縁で奉職致し  
ました。精一杯頑張ります。

①巫女  
橋本 佳奈 25才  
②平成27年4月1日



④巫女  
今井 美里 30才  
②平成23年4月1日



④今年から奉職致しました。  
何卒宜しくお願ひします。

①出仕見習い  
南條 竜太 25才  
②平成30年4月1日  
③祭儀部



④自分にできることを一  
つずつ  
頑張ります。  
①権爾宣  
田中 義将 24才  
②平成28年4月1日  
③祭儀部



④フレッシュにがんばります。  
よろしくお願ひ致します。

①巫女  
吉村 玲南 18才  
②平成30年4月1日



④まじめに頑張ります。  
よろしくお願ひ致します。

①巫女見習  
須山 理絵子 27才  
②平成30年4月1日



④奉職2年目ですが、真面目に  
楽しく勤めていきます。

①巫女  
山口 未来 20才  
②平成29年4月1日



④参拝に来られた方が気持ちよく  
お参りできるよう精一杯頑張り  
たいと思います。

①巫女  
柳村 郁美 20才  
②平成28年4月1日



# 神職・巫女 紹介

新宮司のもと、職員一同神明奉仕に一層精励いたしますので  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



④霜やたびおけど 枯れせぬ  
さかき葉のたち采ゆべき  
神のきぬかも  
①禰宜  
柳野 等 53才  
②平成4年2月13日  
③祭儀部



①禰宜  
岸本 政夫 62才  
②昭和56年4月1日  
③総務部



①宮司  
寺井 種治 54才  
②昭和63年4月1日  
③総務部



④いつも笑顔を絶やさず  
神明奉仕  
①権爾宣  
糸数 昌史 57才  
②平成3年10月1日  
③財務部 教学課



④そろそろ人生エピローグ  
日々感謝  
①権爾宣  
津江 憲典 43才  
②平成11年4月1日  
③財務部



④初心生涯  
①権爾宣  
沖 圭司 61才  
②平成3年7月1日  
③天満宮会館 総支配人



①権爾宣  
糸数 智子 60才  
②昭和51年4月1日  
③総務部 秘書課



④少しわかるようになります。  
よろしくお願ひします。  
今後の輝としたいです。  
①権爾宣  
大橋 弘邦 37才  
②平成18年4月1日  
③総務



④少しでも皆様のお力にな  
れるよう精進いたします。  
日々務めたいと思  
います。  
①権爾宣  
川井 義晴 38才  
②平成15年4月1日  
③財務部 経理課



④「身を捨ててこそ  
浮かぶ瀬もある」の気持  
ちで  
日々務めたいと思  
います。  
①権爾宣  
菅野 喬紘 38才  
②平成14年4月1日  
③祭儀部



①権爾宣  
園 博年 48才  
②平成5年5月1日  
③奉賽課 課長

# 7回目のフレーム切手「天神祭 2018」発行



制作協力:大阪天満宮

天神祭 2018



切手と切手額面を複数枚に切ってご利用いただけます。  
複数枚切手は、販売元にて販売いたします。  
複数枚切手は、販売元にて販売いたします。

QRコード  
お問い合わせ用

**大阪天満宮社報**  
てんまてんじん 第74号  
平成30年7月31日印刷  
平成30年8月1日発行  
発行人 寺井種治  
発行所 大阪天満宮社務所  
〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目1-8  
TEL 06-6353-0025  
印刷所 木村印刷株式会社

今年も天神祭に合わせたオリジナルフレーム切手「天神祭2018」が、日本郵便(株)近畿支社から発行されました。

手×10枚) 一三〇〇

円で、市内の全郵便局（計三八七局）で発売中です。

天神祭のフレーム切手は、平成一九年以來適宜発行しており、今年で七回目となります。今回は当宮所蔵の「古來天神祭船渡御之図」から選んだ五場面を中心として、他に歌川広重や上田耕甫、田能村

小斎などの天神祭を描いた絵画を採り上げました。

一シート（八二円切手×10枚）130円で、天神祭には境内や天神橋筋商店街の特設売店で販売しますが、その後は市内の全郵便局（計三八七局）で発売されます。

小斎などの天神祭を描いた絵画を採り上げました。

今年の炎暑は過去に例がないほど暑さです。気象庁でも、この猛暑を「災害」と認定し、「命に危険があるような暑さ」に気を付けるように注意を喚起していました。

また、災害的な暑さに先立つ「大阪府北部地震」と「平成30年七月豪雨」の被害も大きいものでした。氏子の皆さまからは、「御宮の被害はありませんか?」というお見舞い来宮やお電話が相次ぎ、今更ながら皆さまの尊敬の厚いお心に接し有難く感じた次第です。

幸いに地震の被害も軽微で、鉢流斎場や末社の鳥居の一部にひび割れや欠損が発見されたり、石燈籠の上部の宝珠がずれたりしましたがすぐに応急修理を行いましたので大事に至りませんでしたので、ここにご報告させていただきます。

編 集 後 記